

いよいよ3月18日に、リゾートアウトレット大洗がオープンし、わが町に新たな賑わい空間が創設されます。

港湾背後地の土地利用開発については、マリントワー周辺のレジャー機能・商的機能の充実整備など、私が企画課にいた時代からの懸案事項でもありました。

その土台となる大洗港の整備については、昭和36年大洗港の起工にはじまり、昭和54年重要港湾として位置づけられると一気に加速し、昭和60年フェリー就航に至ったところです。幸いにも昨年はフェリー就航20周年を迎え、併せてクルーズ船「にっぽん丸」が初入港を果たし、ホスピタリティー溢れる歓迎により乗客の皆さまに感動を与えました。本年3月10日には「ふじ丸」が入港し2泊3日の八丈島クルーズに初出航いたします。さらには、世界遺産を有している日光市と連携をし国内外のクルーズ船の誘致に努め、これを機会に多くの観光客をわが町に誘客することで、港の振興と併せ町の元気づくりが展開できるものと考えております。

長年の懸案事項でありました。港湾背後地の利活用については、港の魅力を高めるリゾートアウトレット大洗のオープンやクルーズ船の誘致などによる国際観光機能の充実、さらには、遊覧船事業・大洗マリーナ・わくわく科学館・マリントワー・地元の新鮮な魚や農産物がある物産館など、魅力のある環境が整いつつあります。初めて足を運んでくださる方々も多く見込まれ、今まで以上に多くの来遊客を呼び込むことができるものと確信しております。

わが町に訪れるお客様を地元の方がしっかりと受け止め、これから先多くの来遊客が見込まれる中で、既存商店街への波及効果を高める振興策や、新たな発想での展開、例えば、道の駅施設整備や水上タクシーなど中心市街地の活性化に積極的に取り組み、宿泊客の滞留時間を高める方策になお一層力を注いでまいります。

元気に満ち溢れ夢のある素晴らしい環境、そこに訪れる200万人から250万人の来遊客に対し、町民一人ひとりが「ようこそ大洗へ」の一声運動により心のこもった歓迎の気持ちを表し、訪れる方々に感動を与え、リピーター客の確保にとともに力を注いでまいります。

## 随想

### 「ようこそ大洗へ」の気持ちを大切に

大洗町長 小谷隆亮

## 表彰

### 中学生人権作文コンテスト 小野瀬美穂さん（南中）金賞

中学生を対象とした人権作文コンテスト（水戸人権擁護委員協議会主催）において、当協議会管内から886編の応募があり、その中で、南中学校2年の小野瀬美穂さんの作文が「金賞」を受賞しまし

た。小野瀬さんは、「違いを認めるとは」という題で、人権の大切さについて執筆し、その素晴らしい内容を評価され、その受賞となりました。



プラスチック製の大きなヘッドや柔らかいボールを使用し、安全です。



楽しく真剣に、夏海小の児童

## 大洗町の小学校を対象に「スナッグゴルフ講習会」が開催されました

日本ゴルフツアー機構主催により、2月15日・16日の2日間、町内の4小学校を対象に「スナッグゴルフ講習会」が開催されました。

スナッグゴルフとは、アメリカのPGAツアープロによって考案・開発された、ゴルフの基本技術を学ぶためのスポーツです。スナッグゴルフの最大の特徴は、ゴルフ未経験者や子供でも最初からボールを打つことができること、また、学校の校庭や体育館のような身近な狭い場所でも安全にゴルフ練習・プレーできることです。

子供たちが、スナッグゴルフを通して礼儀、思いやり、協力、誠実など、素晴らしい価値観を学ぶとともに、青少年の健全育成を目的としており、現在、全国の多くの小学校でスナッグゴルフが導入されて、クラブ活動や体育授業で取り入れられています。

## 潮風をうけて力走 大洗マラソン大会

2月5日(日) さわやかな晴天の下、第24回大洗マラソン大会が開催され、早朝より文化センター前に約700人の参加者と応援する皆さんが集まりました。

町内はもとより町外からも多くの方々が参加し、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮する俊足のランナーや親子ランナーなどが、それぞれの部門ごとに1km、3km、5kmの特設コースを力強く駆け抜けました。

さわやかに  
選手宣誓



ゴールはもう少し！ガンバレ！

種目	親子	小4男子	小4女子	小5男子	小5女子
1位	横倉 学・慶吾 (岩間町)	井坂 圭吾 (久米小)	三川 侑己 (三反田小)	雲類 龍佑典 (堀口小)	海野 未湖 (菅谷西小)
2位	中野 朋之・壮磨 (水戸市)	吉田 悠生 (夏海小)	中島 晴香 (古内小)	小沼 祐介 (磯浜小)	大貫 詩織 (佐竹小)
3位	小林 好広・萌香 (常陸大宮市)	土橋 由祈 (夏海小)	樋口 優香 (外野小)	石井 努 (堀口小)	仲野 谷亜由 (岩間三小)
種目	小6男子	小6女子	中学男子	中学女子	高校男子
1位	桜井 勇季 (那珂湊第三小)	横田 あずさ (徳宿三小)	根本 祥平 (大洗一中)	黒澤 莉楠 (田彦中)	大川 喜一 (高等養護)
2位	市村 卓己 (舟木小)	村山 葵 (菅谷西小)	村山 和也 (友部二中)	黒澤 夏楠 (田彦中)	井澤 秀幸 (高等養護)
3位	米川 隼 (那珂湊第三小)	山口 友加 (銚田小)	宮部 薫 (常澄中)	小岩 英里奈 (東海中)	金田 光司 (高等養護)
種目	高校女子	一般男子	一般女子	壮年	
1位	大竹 洋美 (高等養護)	海老澤 一也 (茨城町)	斉田 洋子 (ゆつくらSQ)	大和田 稔 (東海村)	
2位	千葉 さつき (高等養護)	鬼澤 研二 (銚田市)	関 美華 (ゆつくらSQ)	鴨志田 祐司 (常陸太田)	
3位	鈴木 彩乃 (高等養護)	生井 沢祐一 (かずみがうら市)	河嶋 幸子 (行方市)	畠山 幸男 (ひたちなか市)	

## 第5回大洗福祉まつり

2月12日(日)大洗町社会福祉協議会主催による、町の福祉事業を広くPRしていく催し、「大洗福祉まつり」が大洗文化センターで開催されました。

5回目を迎える今回は、「それ行け！アンパンマンショー」や車椅子・点字体験、電動車椅子の実演も行いました。バルーンアートや昔遊び(お手玉、折り紙)も大変好評で子供たちは楽しんでいました。

また、ポップコーン、綿菓子のチャリティー販売や、手作りコンニャク、ピーナッツの加工品、つみれ汁、採れたて野菜、福祉作業所の作品、焼きそば、ラーメン販売、バザー等でも福祉まつりを盛り上げていただきました。

福祉まつりの来場者も1,300人を超え、大盛況のうちに幕を閉じました。

それ行け！  
アンパンマン  
ショー



点字体験コーナー



## 第29回全国消防職員意見発表茨城県大会

2月8日（水）大洗文化センターにおいて、「消防防災」を統一テーマに県内の各消防本部から代表者一人が意見を発表する「第29回全国消防職員意見発表茨城県大会」が開催され、26人の各地域の代表者が業務や体験を踏まえた意見を発表しました。

大洗町消防本部から出場した小沼信一さんは、「救命率向上へ向けて」と題して、応急措置の大切さはもとより、多数の人々が入り出す施設などへのAED（自動体外式除細動器）設置の必要性を訴えながら「町職員をはじめ、一般の方々にも救命の連鎖を広げる意識と行動力を持ちたい」と話し、参加26人中、第6位と素晴らしい成績を納めました。

## 町の文化財を守るために

1月25日（水）大洗磯前神社で、第52回文化財防火デーが開かれました。この防火デーは町の神社仏閣など貴重な文化財を火災や震災などの災害から守るために、毎年この時季に行われています。

大洗町の防災を担当する消防本部・署、消防団本部・第1分団、文化財を担当する教育委員会・文化財保護審議委員、神社関係者や町民の参加する中、初期消火・放水訓練、消火器の取扱訓練などが行われました。

参加者からは「日頃からの訓練で大切な文化財を守っていききたい」などの声が聞かれました。



## サタモン『童神講座』 手紙で伝える楽しさ体験&クッキング

2月11日（土）大洗町体験活動交流センターで、ガイドブック「三人よれば文殊塾」の登録者、中丸光さんの指導により、差出す方を思いながら、心を伝える手紙の楽しさを体験しました。

こんにちは、ありがとう・・・等々、おもい付く言葉を書いていくうちに、不思議と、おだやかなやさしい気持ちになってきます。参加者は、それぞれ、お母さん、お父さん、おばあちゃんや友達等に、素直な気持ちを書きました。みんな楽しそうに、中には、夢中になり4通も書いた子もいました。

サタモンクッキングで作った、たこ焼きでお腹を満たし、そして、手紙で心も満たされ、すてきな一日となりました。



# わが家のアイドル



はぎや ここみ  
秋谷 心美ちゃん

(五反田 1歳)

お父さん 尚一 お母さん 広美  
「莓・ノリノリの歌や音楽が大好き！  
お友達になってね!!」



てらしま  
寺島 ひまりちゃん・ひなたちゃん

(東光台2区 8ヶ月・2歳)

お父さん 敏彦 お母さん 幸子  
「毎日元気いっぱいです」

## 本を308冊読みました！ 夏海小5年 菅谷洋介くん

茨城県主催の、小学校4・5・6年生を対象にした「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」において、夏海小学校5年の菅谷洋介くんが、平成16年度・17年度の約2年間において、合計308冊の本を読み茨城県より表彰されました。

菅谷くんの次の目標は、500冊だそうです。これからも本を読み続けたいと話していました。



## ゆっくら健康館 発

『ゆっくら館での  
肉体改造で更なる  
レベルアップを!』

## アスリート紹介



米川 満さん

大洗野球スポーツ少年団を始め、中学・高校そして現在、社会人野球と草野球チームに所属するなど、これまで野球一筋だった私がゆっくら館に通い始めたのは約4年前のこと、30歳を目前にして体力の衰えを感じ始めたからです。当初、基礎体力の向上を目的にマシントレーニングやブルで泳ぐ程度でしたが、ゆっくら館の先輩やコーチからボディアップに誘われたのをきっかけに各種プログラムに参加するようになりました。

ボディアップは、専用のプラスチックバーベルを使って音楽を楽しみながらグループで筋力トレーニングを行うもので、『世界最速のシエイプアッププログラム!』と言われています。参加し始めた頃は、筋肉痛が全身を襲っていました。が、回を重ねるごとに体の方も徐々に慣れ、今ではその苦しみや痛みが快感になるなど、気が付けば野球以上に熱心になり、更にボディアップ、ボディヒーリングにも参加するようになりました。特にBTSJのレッスンプログラムの魅力は、全身をバランス良く鍛えるように考えられており、また、一人では辛いトレーニングも、野球と同じようにグル

プで楽しく行うことで達成感や爽快感が味わえ、同時に野球に必要な筋力・瞬発力などを強化できる点にあります。現在では、チームメイトに、「年齢の割には良い動きしていますね」と言われるようになりました。トレーニングの効果を実感しています。そして何よりも、「辛いトレーニングをやっているんだ」ということが自信に繋がっており、現役引退前だった選手生命を延ばすことができました。

また、ジムやブルではその他にも様々なレッスンがあります。最近では、更なるレベルアップを目指して、エアロビクスやアクアサーキット、今流行しているヨガにも参加しています。そしていつの日か、ツワモノ揃いの「ゆっくらSQ」へ参加できるよう日々肉体改造に励んでいます。

ゆっくら館は、若い方はもちろんのこと年配の方もみんな元気良くレッスンに参加されており、いつも刺激を受けてます。和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しくトレーニングでき、ストレス解消にもつながります。

基礎体力の向上にうってつけのレッスンプログラムがたくさんありますので、皆さんも是非一緒に汗を流しましょう。

兄に添われバージンロードを花嫁はもの静かなる華やきを見ず

〔評〕 婚姻挙式という晴れがましい舞台、一瞬の祝福と悦の景を捉えている。

水の面を蹴りつつはねて飛び立てる鳥とは美しき助走するなり

〔評〕 鳥の名は出てないが、水鳥の羽搏くさまを「美しき助走」と見たところがよい。

旅に出でて終りはさみし独り居は燈りなき家に帰りゆくとき

〔評〕 独り住居の作者にとって、実際の気持がよく出ている。「燈火のない家」と詠んだところ。

幾度の山坂越え来し歳月に角のとれしか夫の背丸し

〔評〕 共に生活をする夫の背中。その丸みに歳月の重たさを見てとるといふのだ。

鷺一羽を追ふ鴉五羽にB二九邀激まさに特攻機の如し

〔評〕 題材が特異、更には、短歌の語調を破った大胆な構成を見せているところに魅かれる。

大雪の影響なれば止むなしと四ツ割りキャベツ百円で買つ

〔評〕 日常何でもないことをさらりと歌いあげ、成功している。「四ツ割りキャベツ」がよい。

過ぎ去りし諸々を飲み初春の輝き満ちぬ海おだやかに

〔評〕 新春にあらためて喜びを感じとる一首。過去のすべてを押し流して年は改まる。

豊漁の願いを込めし大漁旗正月初めの風にはためく

〔評〕 正月岸壁に出揃った漁船に、それぞれ大漁の前祝として畑が翻っているといふのだ。

一間を占めぬ

〔評〕 書といつても条幅となると大変である。一杯の準備が目に見えるようである。

若水を汲みて少々いただきぬ新年の挨拶こもごものべて

〔評〕 「若水」とは、元旦に初めて汲む水。その場の雰囲気がよく伝わってくる。

萌え出すどうだん紅葉あかく燃ゆたしかな秋の日差しの中に

〔評〕 「紅葉」「黄葉」どちらでもよい。その燃えるような色彩は鮮やかである。

取留めのなき初夢を見ていしか息急ぎ走る箱根駅伝

〔評〕 作者は箱根駅伝に全く関わりがないといっている。但しそれも初夢の一つなのである。

初詣の参拝客にもてなしの甘酒出して宮の賑わい

〔評〕 参拝客に祝いの甘酒が出る。作自身にとっても心嬉しい接待である。

遠足の土産にもらいしハンカチの漫画に笑まいつつ汗ふく

〔評〕 思いがけぬ漫画のハンカチ。孫よりであろうか、作者にとっては掛替のないもの。

新しき年の初の食卓に曾孫のまじりて笑み曲ぐを見ず

〔評〕 幼児の相好崩して笑む顔がよく出ている。無造作に南瓜を割りて掻き出す種をみてをり子のもたぬ嫁は

〔評〕 大胆なその場の景を捉え詠み込んでいる。

〔評〕 おみくじを枝に結ぶ。そこに祈りがある。

ぼくとわたしのちびっ子ギャラリー

恵泉保育園 「作品展・バザー」



子育て支援センター 等身大人形



5才児共同製作 昆虫の森



4才児共同製作 動物園



3才児共同製作 トーマスと一年の旅



1、2才児共同製作 つぼみ地球博



0、1才児共同製作 雪だるまとかくらトンネル

# アクアワールド・大洗 4周年記念イベント

開催期間:3月18日(土)~21日(火)

今月21日(火)は、アクアワールド・大洗の4回目の誕生日です。

それを記念して3月18日から21日までの4日間さまざまなイベント開催します。

3月18日(土)、21日(火)には、テレビで大人気のキャラクターショーを開催します。

また、18日から21日までの4日間は、イルカに触れるイベントを開催したり、タッチングプールでは生きたサメに触ることができます。大人しいサメですので、噛みつかれる心配はありません。どうぞ、サメ肌を体験してみてくださいね。

さらに、通常の水族館探検ツアーとはまた別に、「特別探検ツアー：飼育員のないしょ話」を1日3回開催します。ふだんは見ることのできない水族館の裏側を案内するだけではなく、飼育員たちの裏話もきけますよ。

## イベントスケジュール

- 18日(土) キャラクターショー  
「ふたりはプリキュア」  
イルカモニュメント除幕式
- 19日(日) パントマイム
- 20日(月) パントマイム
- 21日(火) キャラクターショー  
「轟轟戦隊ボウケンジャー」



- 18日(土) イルカにタッチング(抽選で30名)
- ~21日(火) サメ肌体験 トラザメに触ってみよう!  
ふわふわスライダー  
特別バックヤードツアー「飼育員のないしょ話」(1日3回先着)

## 〔入館料〕

種別	個人	団体	学校特割
大人	1,800円	1,400円	
小中学生	900円	700円	600円
幼児	300円	250円	200円

- ・料金は消費税が含まれています。
- ・団体は20人以上です。
- ・幼児は3歳以上です。
- ・学校特割とは、保育所、幼稚園、小・中学校の学校行事として利用する場合です。

〔営業時間〕9:00~17:00 最終入館 16:00



アクアワールド  
茨城県大洗水族館

<http://www.aquaworld-oarai.com>

TEL 029-267-5151

